

2007年8月2日

高校生の進路選択に関する調査

～「進学センサス 2007」より～

株式会社リクルート（本社：東京都中央区 代表取締役社長 兼 CEO：柏木斉）では、高校生の進路選択の現状を明らかにするため、進路選択行動のプロセス、進路選択に際しての情報源、進路指導の内容と影響などについての調査を実施いたしました。この度調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

■大学進学者の出願校数で、トップは「1校」、次いで「5校以上」。(→P. 3)

□平均出願校数は2.99校。最も多かったのは「1校」(38.2%)、次いで「5校以上」(22.2%)。一般入試やセンター入試等の教科型入試派は5校以上、推薦入試やAO入試等の非教科型入試派は1校が主流となっている。

■「オープンキャンパス・学校見学会」が進路決定に影響。(→P. 4)

□「最も役に立った進学関連情報源」の第1位。
□「第一志望の学校を決めた時期」に「影響のあった情報源」第1位。

■「オープンキャンパス・学校見学会」へは高校生の80%以上が参加し、参加率・延べ参加回数とも増加。女子の約半数は親と同伴。

□80.6%の高校生が「参加した」と回答。
□延べ参加回数の平均は3.77回。
□参加回数で最も多かったのは「5回以上」(29.3%)。(→P. 5)
□女子の48.7%が親と一緒に参加。(→P. 6)

■「知りたかったこと」はキャンパスや在校生の「雰囲気」。

□オープンキャンパス・学校見学会を通じて「知りたかったこと」は、「キャンパスの雰囲気」(70.0%)がトップ、「在校生の様子や雰囲気」(59.4%)が3位、次いで「実習室や教室などの雰囲気」(46.8%)。「雰囲気」を知りたかった、という回答が上位の多くを占める結果となった。
□実際に「たくさんの先輩の話を聞くことができた」のは18.4%に留まる。(→P. 7)

■「不参加理由」は「日時の都合が合わなかったから」。

□イベントへの不参加理由で最も多かったのは「日時の都合が合わなかったから」(32.4%)、次いで「学校のホームページを調べれば十分わかるから」(22.8%)、「気づいたときには終わっていたから」(22.5%)が続く。(→P. 8)

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

【調査概要】

■調査目的

－高校卒業生に対し、その進路先および決定に至るまでの状況を調査することにより、高校生の進路選択プロセス(行動・意識)を把握する。

■調査方法

－質問紙による郵送法

■調査対象

- －2007年3月高校卒業予定の男女 50,000人
- －在籍高校所在地は、以下の1都2府5県
 - ・関東→埼玉、千葉、東京、神奈川／・愛知／・関西→京都、大阪、兵庫
- －平成18年学校基本調査の「全日制・本科、3学年生徒数(県別)」を元に、各県別、男女別の人数比率が一致するよう、リクルートが保有するリストより割りつけて調査。

■調査期間

- －2007年3月23日(金)～4月9日(月)
- ・4月12日(木)到着分までを入力対象とした。

～参考 1999年調査～

- ・調査対象数 40,000人
- ・有効回答数 6,629人(回収率 16.6%)

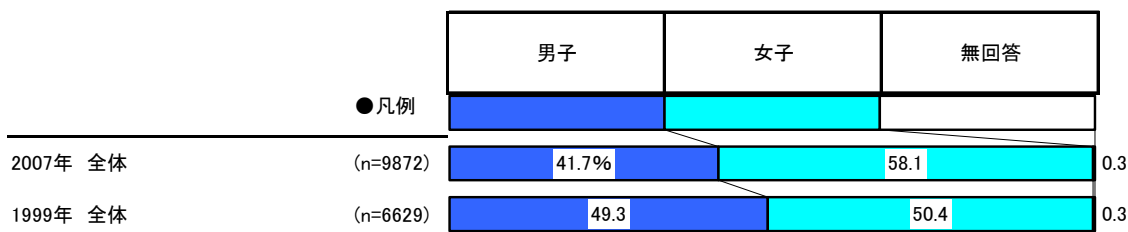
※調査対象の割りつけ方法が一部異なるため、参考データとして比較。

■有効回答数

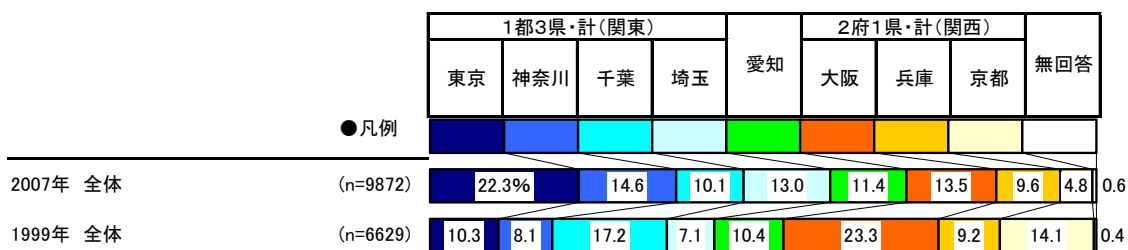
－9,872名(回収率 19.7%)

【回答者プロフィール】

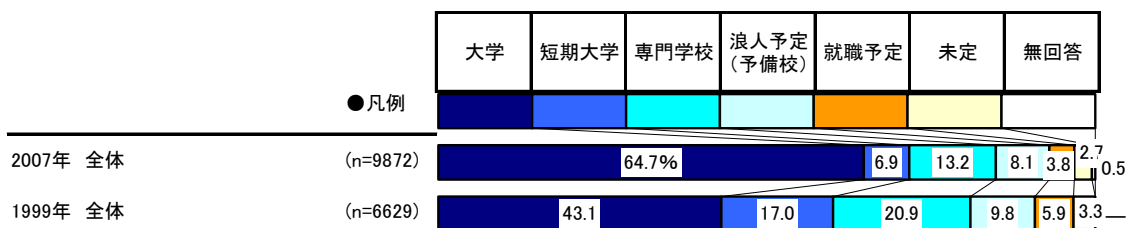
■性別(全体／単一回答)



■高校所在エリア(全体／単一回答)



■高校卒業後の進路(全体／単一回答)



【大学進学者の出願行動の変化】

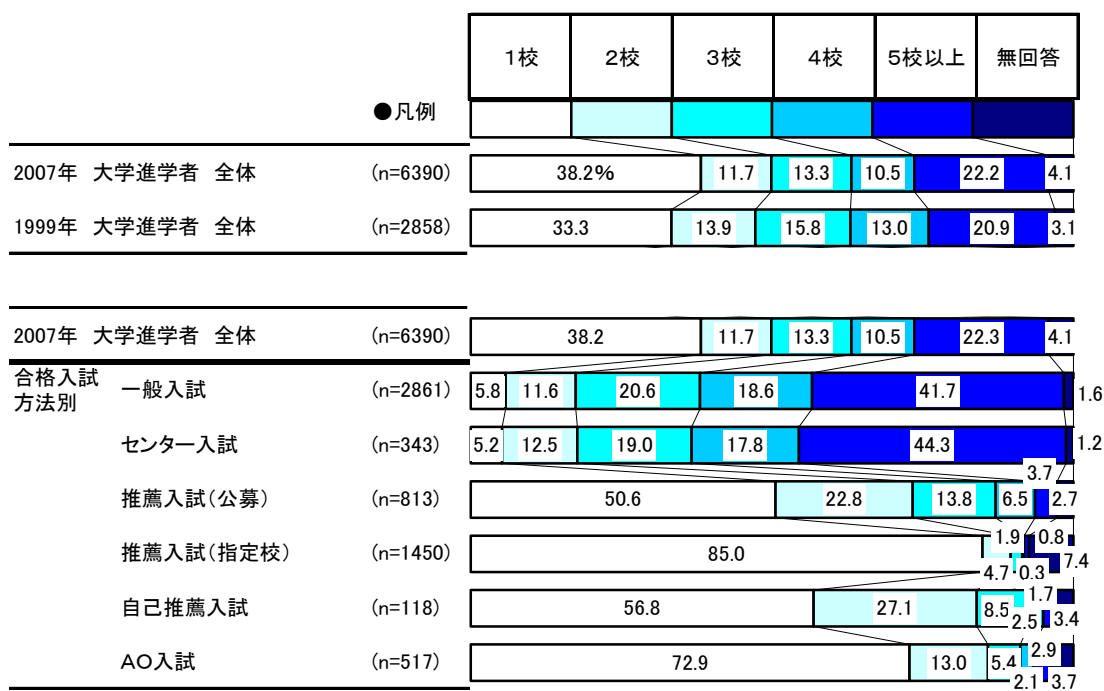
興味関心を持った校数の平均は 6.05 校、出願校数の平均は 2.99 校となっている。出願校数の内訳を見るとトップは「1 校」、次いで「5 校以上」。合格入試方法別では、一般入試やセンター試験といった教科型入試派の進学者は「5 校以上」の出願が最も多く、推薦・AOでの進学者との出願校数の差が明らかになっている。私立大学のセンター試験への参加拡大により受験機会が増加する一方、AO入試や推薦入試などの非教科型入試を導入する大学が増加していることが背景にあると推測される。

■出願状況(興味・関心、出願数)の変化(大学進学者)

	調査年	調査数	興味関心(校)	出願(校)
大学進学者	2007年	6390	6.05	2.99
	1999年	2858	6.31	2.99

※「興味関心」の校数は1校以上回答した人の平均をあらわしている。
 ※1999年は参考データとして比較。

■出願校数分布(大学進学者／単一回答)

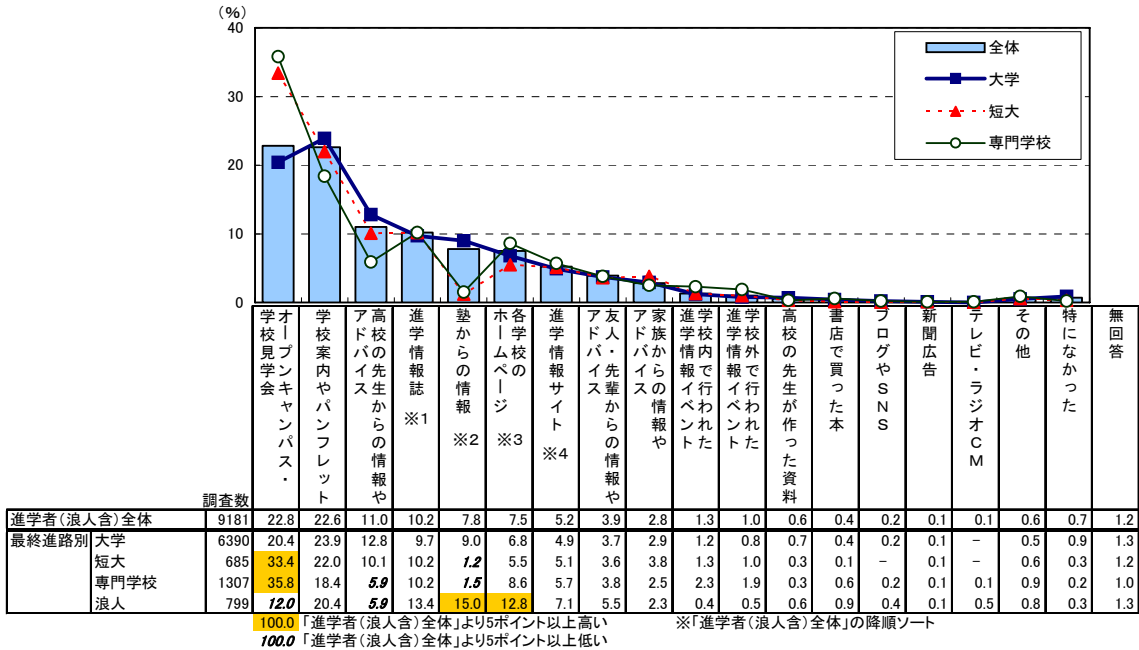


※1999年は参考データとして比較。

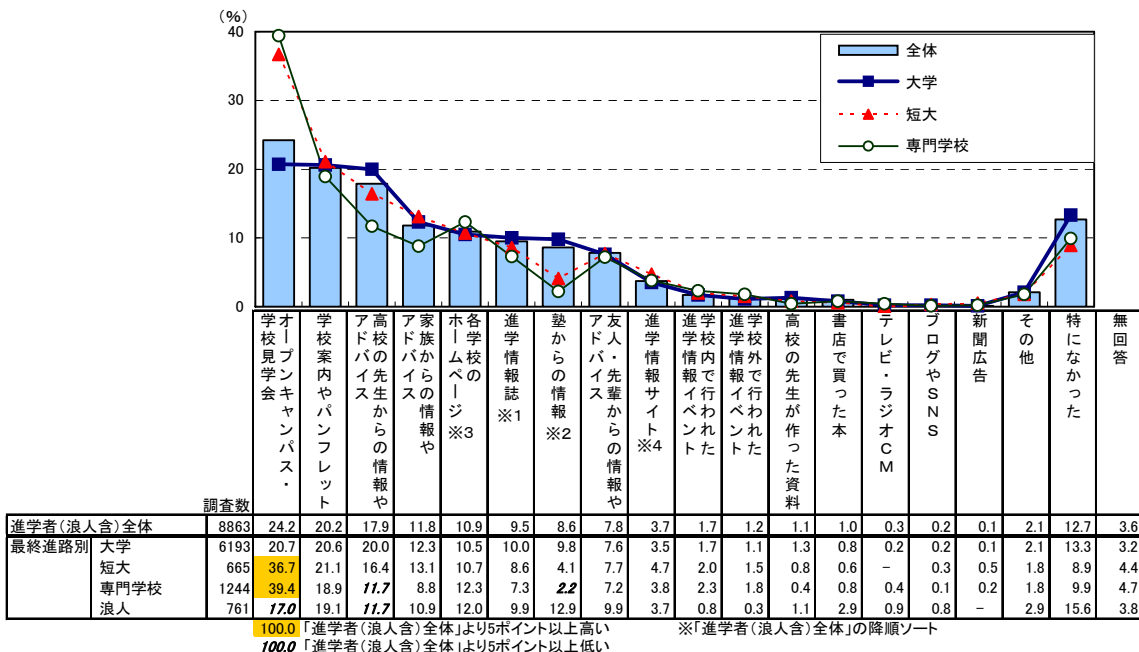
【進学者(浪人含)の進路選択に際しての情報源】

「オープンキャンパス・学校見学会」が「最も役に立った進学関連情報源」(22.8%)や「第一志望の学校を決めた時期に影響のあった情報源」(24.2%)の1位に挙げられており、進路選択に大きな影響を与えていることが分かる。特に、短大進学者や専門学校進学者では「オープンキャンパス・学校見学会」が突出している。

■最も役に立った進学関連情報源 (進学者(浪人含)／単一回答)



■第一志望の学校を決めた時期に影響のあった情報源 (進学者(浪人含)／複数回答)



※1:「高校でもらった進学情報誌」と「自宅に送られてきた情報誌」と「高校の進路指導室などにあった情報誌」と「書店で買った進学情報誌」の合計

※2:「塾・予備校で配布された資料」と「塾・予備校の先生からの情報やアドバイス」の合計

※3:「各学校のホームページ(パソコン)」と「各学校のホームページ(携帯)」の合計

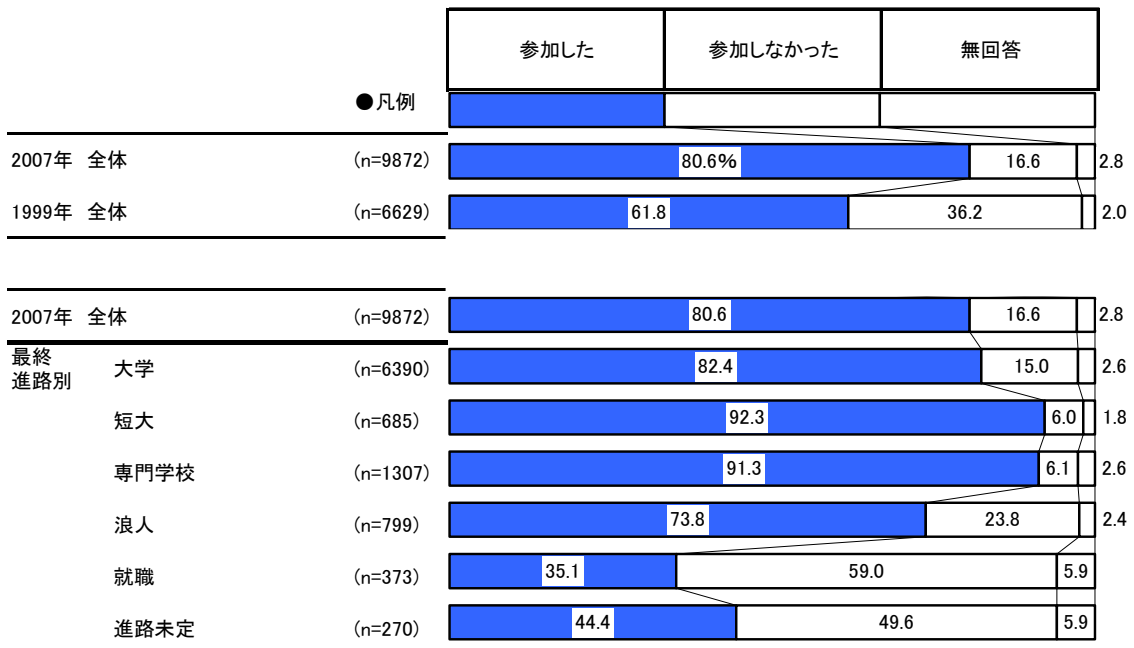
※4:「進学情報サイト(パソコン)」と「進学情報サイト(携帯)」の合計

【オープンキャンパス・学校見学会への参加状況】

高校生全体の 80.6%がオープンキャンパス・学校見学会に参加し、一人当たりの延べ参加回数は平均 3.77 回。

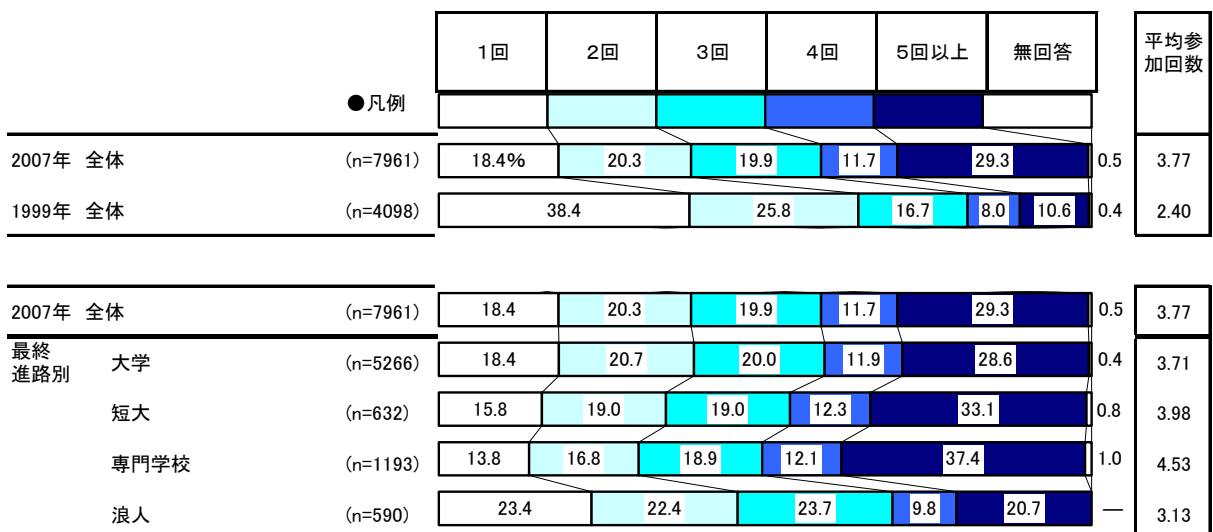
1999 年と比較すると、参加率で 18.8 ポイント、参加回数も 1.37 回増加。参加回数の内訳を見ると、最も多いのは 1999 年の「1 回」(38.4%)に対し、2007 年は「5 回以上」(29.3%)となっている。同伴者については「友達と参加」(71.8%)が突出しているが、女子は約半数(48.7%)が親と同伴しており、親子で参加する割合が高い。

■オープンキャンパス・学校見学会参加経験(全体／単一回答)



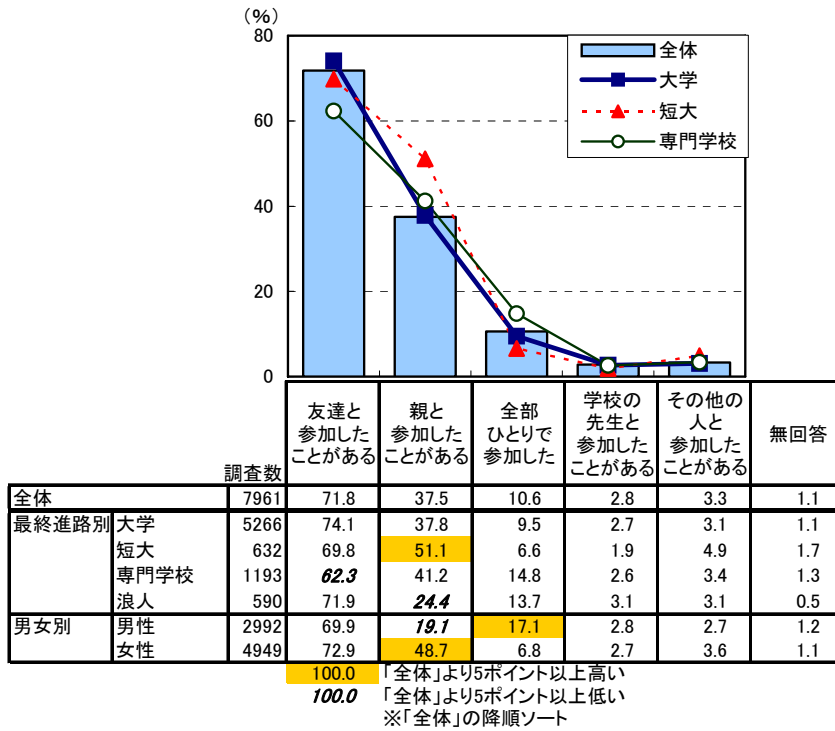
※1999 年は参考データとして比較。

■オープンキャンパス・学校見学会参加回数(オープンキャンパス・学校見学会参加者／単一回答)



※1999 年は参考データとして比較。

■オープンキャンパス・学校見学会同伴者(オープンキャンパス・学校見学会参加者/複数回答)

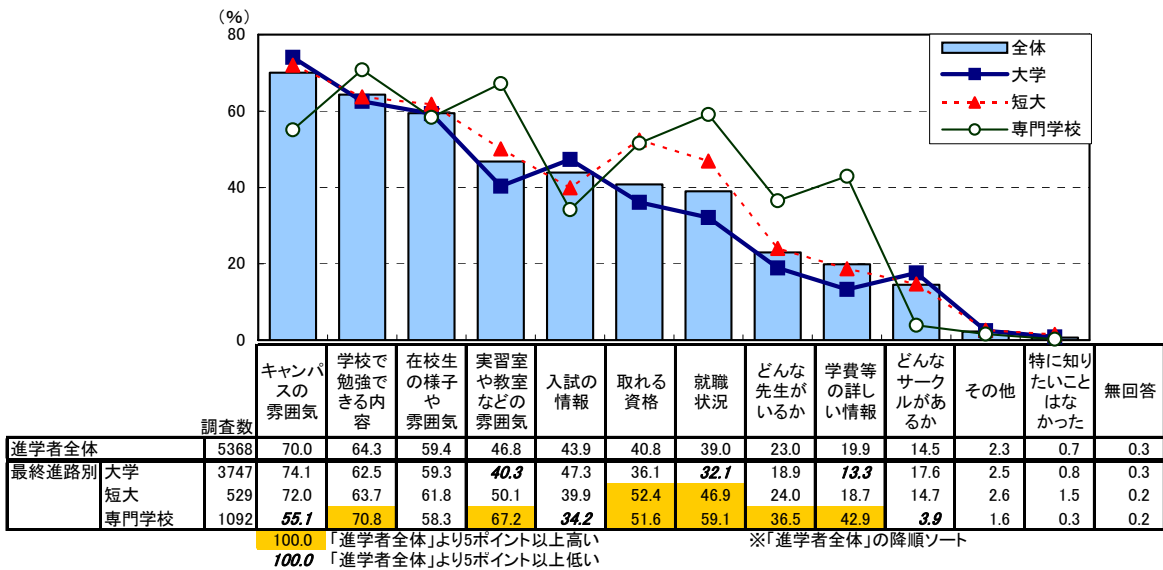


【進学者のオープンキャンパス・学校見学会への評価】

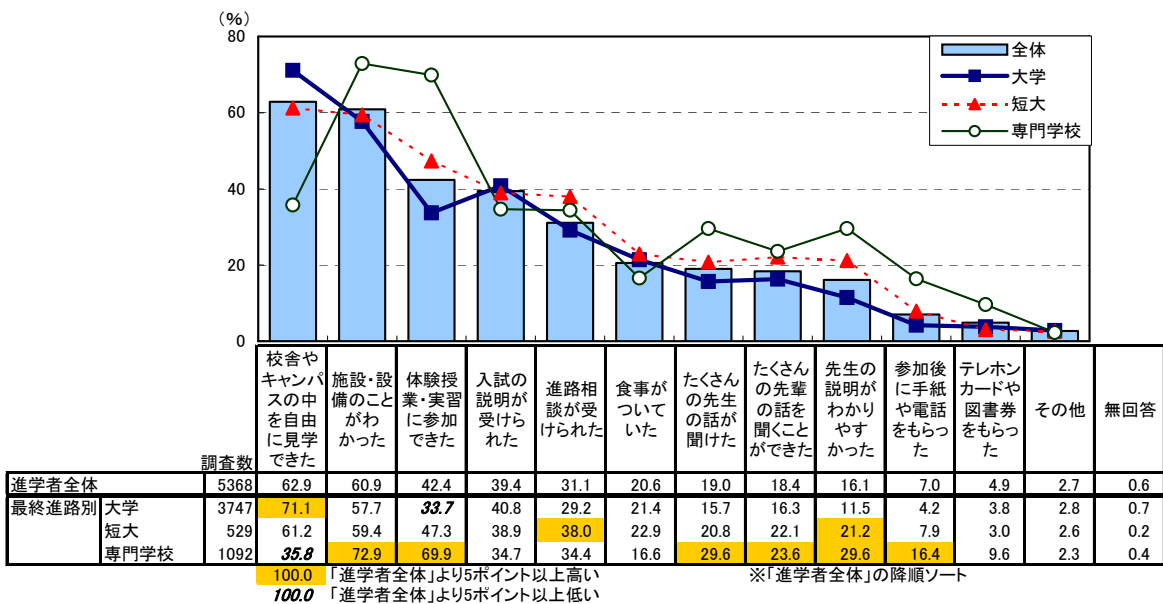
「知りたかったこと」には「キャンパスの雰囲気」(70.0%)、「在校生の様子や雰囲気」(59.4%)、「実習室や教室などの雰囲気」(46.8%)などが上位に挙がり、オープンキャンパス・学校見学会では「雰囲気」を知りたいという様子が見られる。最終進路別に見ると、専門学校進学者は「学校で勉強できる内容」(70.8%)がトップに上がっている。

「よかったところ」のトップは「校舎やキャンパスの中を自由に見学できた」(62.9%)、「施設・設備のことがわかった」(60.9%)が続いており、実際に「たくさんの先輩の話を知ることができた」は18.4%に留まっている。

■進学先校 オープンキャンパス・学校見学会で知りたかったこと (進学者のうち進学先オープンキャンパス・学校見学会参加者／複数回答)



■進学先校 オープンキャンパス・学校見学会のよかったところ (進学者のうち進学先オープンキャンパス・学校見学会参加者／複数回答)



【オープンキャンパス・学校見学会の不参加理由】

不参加理由のトップは「日時の都合が合わなかったから」(32.4%)。「気づいた時には終わっていたから」も大学では24.4%、短大では31.7%に上るなど、行く必要がないというよりも行きたいが行けなかった理由を挙げる者が多い。開催日や開催時期を工夫することにより、今後オープンキャンパス・学校見学会はさらなる利用拡大が見込まれる。

■オープンキャンパス・学校見学会への不参加理由(オープンキャンパス・学校見学会不参加者/複数回答)

